

報告書

研究班 : A02-5 無重力・閉鎖ストレスの統合的理解

招聘者 : 古川 聡 (宇宙航空研究開発機構 有人宇宙技術部門・上席研究開発員)

招聘期間 : 2019年3月10日～18日

招聘研究者 : Dr. John Charles (NASA emeritus, former Chief Scientist, NASA Human Research Program, former Associate Director for International Research, NASA Human Research Program - former Associate Director for Exploration Research, NASA Human Research Program)

招聘目的:

国際共同研究として、今後の宇宙医学分野での研究についてアドバイスを頂くとともに、「宇宙に生きる」国際シンポジウムでの講演と技術交流会に参加いただいて、領域全体との国際共同研究について意見交換を行うために、NASA で長年にわたり宇宙医学研究をリードしてきた著名研究者を招聘した。

概要:

JAXA 筑波宇宙センターにおいて、古川代表研究者および研究分担者らと情報交換を行って「宇宙に生きる」についてのアドバイスを頂いた。

京都大学における領域国際シンポジウムでは「ここから火星へ：一年のISS ミッションと双子の研究」として、NASA の宇宙医学研究の成果、特に国際宇宙ステーションに通常の倍の約1年滞在したアメリカとロシア一人ずつの宇宙飛行士における宇宙医学研究の成果が紹介された。

また、Dr. Charles に加え、米国およびヨーロッパから領域の研究分野における著名な研究者を招聘し、それら招聘研究者と「宇宙に生きる」の研究者との間で、将来の火星への有人宇宙飛行に向けた宇宙医学研究の情報を交換し、議論を深めることができた。



ご公演中の Dr. John Charles